

2025 年 2 月 14 日

## News Release

芙蓉総合リース株式会社

(コード番号：8424 東証プライム)

代表取締役社長 織田 寛明

### ターキッシュ エアラインズとのサステナビリティ・リンク・ローン付き オペレーティングリース契約の締結について

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、ソシエテ・ジェネラル銀行<sup>※1</sup>と共同して、ターキッシュ エアラインズ<sup>※2</sup>が導入するエアバス社製 A321neo 型機を対象とするサステナビリティ・リンク・ローン付きオペレーティングリース契約（以下「本リース契約」）を締結しましたのでお知らせいたします。

本リース契約は、芙蓉リースとソシエテ・ジェネラル銀行、ターキッシュ エアラインズが協議のうえ有償旅客キロあたりの排出原単位（ $\text{gCO}_2/\text{RPK}$ <sup>※3</sup>）にリンクする K P I（Key Performance Indicator）を設定したサステナビリティ・リンク・ローンを活用し、K P I の達成度合いに応じてリース料を軽減する仕組みを構築しました。なお、サステナブルファイナンスを活用した資金調達を実施することは、ターキッシュ エアラインズにとって初の取り組みとなります。

#### ◆取引スキームのイメージ



芙蓉リースグループは、2022 年 4 月よりスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（共有価値の創造：Creating Shared Value）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しています。また、ターキッシュ エアラインズは、2050 年カーボンニュートラルを目指し『Tomorrow On-Board』プログラムを掲げ、サステナビリティ イニシアティブを推進しています。両社の持続可能な社会づくりへの取り組みが一致していることも後押しとなり、本リース契約が実現しました。

本リース契約の対象物件であるエアバス社製 A321neo 型航空機は、同社の従来機と比べて CO<sub>2</sub> 排出量が格段に少なく環境面に優れた機体です。航空会社の CO<sub>2</sub> 排出量の削減につながる K P I を設定したリースの仕組みを活用し、このような機体の導入を促進することで、航空業界における脱炭素化の実現へ貢献してまいります。

※1 フランスに本拠を置く金融機関。本案件において、サステナビリティ・コーディネーター、オーバーロール・アレンジャー、デットアレンジャー、ファシリティエージェント、セキュリティトラスティとしての役割を担う。

※2 1933 年に設立されたトルコの国営航空会社であり、トルコのナショナルフラッグキャリア。

※3 Revenue Passenger Kilometers（有償旅客キロ）の略。有償旅客数に輸送距離を乗じて算出した航空会社の旅客輸送実績を示す指標。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎  
電話番号 03（5275）8891 URL : <https://www.fgl.co.jp/>